

## 会 議 録

1 会議名	平成23年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成23年8月1日(月) 午後3時00分～午後5時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 山口和子, 赤羽博行, 江連脩身, 神山光男, 亀田勝敏, 川津昭夫, 北見和弘, 田口利男, 手塚安則, 星優美子, 谷田部喜美江, 横塚境, 君島恭子, 櫻井清一, 高橋みどり, 藤井直和</p> <p>【事務局】</p> <p>上河内地域自治センター所長, 地区行政課長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 合併市町村基本計画の執行状況について</p> <p>ア 答申書(案)について</p> <p>イ 意見交換</p> <p>(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>ア 提案書作成のながれ</p> <p>イ テーマについて</p> <p>ウ グループ編成について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開会
第4回宇都宮市上河内自治会議開会
2 会長あいさつ
太田会長よりあいさつ
3 議事
(1) 合併市町村基本計画の執行状況について

会 長	<p>次第3の議事に入らせていただく。  (1)の合併市町村基本計画の執行状況について事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>アの答申書(案)について説明させていただく。  答申書の構成  はじめに  1 計画的に進んでいる事業  (1) 道路新設改良事業  (2) 上水道事業統合整備  (3) 公共下水道整備事業  (4) 児童の健全育成環境の整備  (5) 中学校校舎整備事業  (6) 中学校体育館整備事業  (7) 中里原土地地区画整理事業  (8) 農道整備事業  2 検討段階にある事業  (1) 生涯学習センター整備事業  (2) 農産物直売所等整備事業  (3) 地域交流館整備事業  3 終了した事業  (1) スマートIC恒久設置事業  以上について説明する。</p>
会 長	<p>前回の協議内容を踏まえ、修正したものが答申書(案)である。  答申書(案)全体を通して意見を求める。</p>
委 員	<p>はじめにのところで「中里原土地地区画整理事業は宇都宮市北東部地域の地域交流拠点として」とあるが、中里原土地地区画整理事業そのものが地域交流拠点とどう結び付くのか分からない。もう少し分かりやすい表現に変更したほうがよい。  また、「産業や観光の機能導入」とあるが、機能導入という表現も分かりづらい。</p>
事務局	<p>上河内地域については、中里周辺地区が第2次宇都宮市都市計画マスタープランにおいて宇都宮市北東部地域の地域交流拠点として位置づけられていることから、中里原地区の都市基盤整備に合わせた田園環境と調和した良好な居住環境の形成を図るため、中里原土地地区画整理事業を進めてきたという意味でこういう表現とした。</p>

委員	そうであれば、前段に「住環境の整備については」という表現を追加してはいかがか。
会長	「交流拠点」という表現については、都市計画マスタープラン上の位置づけと居住環境の形成という繋がりの中で、もう少し分かりやすい表現となるよう検討させていただく。なお、「機能導入」という表現についても同様に検討させていただく。 他になければ、そのような意見で修正させていただく。
全委員	意見なし。
会長	他に何か意見はあるか。
委員	上水道の統合について、現在は東と西に配水所があるが、統合することで災害があった時に一箇所壊れると全体が機能しなくなるのではないか。そうであれば、今のまま独立させておいた方がよいのではないか。
事務局	あくまで東部地区と西部地区の配水管を連絡管で結ぶことが目的であり、配水所を統合する事業ではない。
委員	「災害時においても安定した給水が確保できるよう具体的な整備計画を明確に」とあるが、当初の計画にあったものだけではなく、災害対策のリスク分散化という項目を追加してはいかがか。
会長	この事業の目的は東西連絡管によって二つの給水地域を結ぶことであるが、これにより相互に水が融通されることによって災害対策などのリスク分散化にも役立つものである。 それ以上にもう少し具体的な要望が必要であるということか。
委員	今回の大震災による教訓を生かした追加的な項目をどうすべきかということであって、東西連絡管を結ぶだけが災害対策となるとそれだけでよいのかという疑問が残るということである。
会長	東西連絡管を結ぶだけに限定しないという意見であるが、13事業に加えて新たな提案を追加するのは難しいため、表現方法について少し検討させていただく。 他に何か意見はあるか。
委員	道路新設改良事業について、市道13045号線・13047号線の整備で「通行禁止など交通規制が必要です」とあるが、現在も通学路となっているため「早急に必要です」という表現にしていきたい。
委員	市道13127号線については、「変更するなどの検討が必要です」とあるが、検討でなくもう少し強い表現にしていきたい。
会長	先ほどの市道13045号線・13047号線に対する意見及び市道13127号線に対する意見について、もう少し強調した表現になるよ

	う検討させていただく。 他に何か意見はあるか。
委員	中学校校舎整備事業・中学校体育館整備事業で「平成27年度までに整備を進める」とあるが、可能であれば「計画を前倒しして」という表現にさせていただきたい。
事務局	耐震2次診断を実施した結果、IS値が低い順に整備する方針であるため、そのような表現とした。
委員	できるできないは別として、平成27年度まででは計画通りである。自治会議からの意見として「前倒しできるなら」という意見でよいのではないか。
会長	表現については検討させていただく。 他に何か意見はあるか。
全委員	意見なし。
会長	今回、出された意見については、私と副会長及び事務局と協議をしたうえで、それぞれの趣旨に沿うかたちで可能な限り検討させていただく。 なお、8月5日に市長に答申書の提出を予定しているため、内容については私と副会長に一任ということでご了承いただきたい。
(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について	
会長	次に(2)地域のまちづくりに関する施策の提案について事務局より説明願う。
事務局	「提案書作成のながれ」、「テーマ」、「グループ編成」について説明する。
会長	地域のまちづくりに関する施策の提案についての説明であるが、「提案書作成のながれ」では具体的な進め方の手順、「テーマ」については、前回の提案書を作成するうえで掲げた四つのテーマのうち残っている三つのテーマについて、「グループ編成」については、それぞれ担当いただくグループについての説明である。 以上の説明について意見を求める。
委員	提案書を作成するうえで、10年後のあるべき姿というより地域住民のありたい姿というほうがよいと思うが、住民のアンケートを取り入れたことはあるのか。また、取り入れることは可能なのか。
事務局	平成21年に提出した提案書では、提案書を作成するうえで約260名を対象にアンケートを実施した経緯がある。 なお、平成23年に提出した提案書では、各委員の生活実感や各団体の意向などを基に提案書を作成した。

会 長	アンケートを実施したほうがよいというのであれば、今後、検討していただきたい。
委 員	テーマの説明にあった産業・経済・交通以外のすべてのテーマについて提案するという事は、今回で提案書を完結させるということなのか。
会 長	産業・経済・交通については、実際には1年間で作成したものである。残りのテーマごとに1年かけて作成することになると、最初のテーマから数えると4年を要してしまう。また、四つのテーマすべてをセットにして地域のまちづくりを考えないと細切れな提案になってしまうため、残り三つのテーマを同時並行で2年かけて完成させるということである。
委 員	先ほどのアンケートの件について、3年前に実施したアンケートと現在では地域住民の考え方が違うと思うため、アンケートは必要である。
会 長	各団体などからの意見調整を図っていただくことは会議の中で実現できると思うが、一方でアンケートにより地域の皆様の意見も広く調べていくことも重要であると思う。 事務局としてアンケートを実施することは可能であるのか。
事務局	3年前のアンケートは、各委員が近所の方などから聞き取りを行ったものであり、各委員が地域全体を対象に実施するとなるとかなりの時間がかかると思う。
会 長	限られた時間でアンケートを実施するには十分に工夫が必要である。
委 員	提案書を作成するにあたり、まちづくり協議会と自治会議の役割分担はどうなっているのか。
副会長	提案書の中身をまちづくり協議会が把握したうえで作成していく考えである。 また、今まで2回の提案をこういった内容で市長に提案したということ把握してもらうため、勉強会を開催する予定である。
事務局	平成22年2月に29団体の加盟により上河内地区まちづくり協議会を設立したところである。まちづくり協議会においては、地域の意向を聞くことや発信することで、より良いまちづくりを行うための連絡調整や事業の調整を目的にしており、今現在、地域づくり事業・環境関係の事業・防犯関係の事業ということでリサイクル推進協議会や防犯連絡会などが中心となって事業を進めている。昨年については、いだらぼうの会が中心になってまち歩きした結果を地域マップとしてまとめ、皆様にお配りしたところである。また、先ほど説明があった勉強会などを通じ人材の育成を図っていく考えである。

<p>会 長</p>	<p>自治会議は宇都宮市の条例に基づき設置されている附属機関であり、合併協議に基づき地域の意志を市政に反映させていく意見反映の場として設けられたものである。この会議には10年間という期間限定があり、現在、5年目ということで折り返し地点に立ったところである。</p> <p>また、合併市町村基本計画で定められている13事業の進捗管理とともに、それにこだわらず幅広く上河内地域のまちづくりに関する提案を市長にすることも自治会議の役割とされている。13事業については進捗が図られ軌道に乗ってきていることから、今後はまちづくりの提案にウエイトを置きつつ、まちづくり協議会と連携しながら地域のまちづくりに貢献していく必要がある。</p> <p>先ほど説明があったように、ここでの議論がここだけで終わることなく、広がりを持ち、まちづくり協議会にも理解をいただきながら、自治会議とまちづくり協議会が両輪となり、地域のまちづくりが軌道に乗るよう進めていく必要があるということである。</p>
<p>委 員</p>	<p>まちづくり協議会とうまく連携して提案書をまとめることが理想であるならば、提案書の作りも考える必要があるのではないか。</p>
<p>会 長</p>	<p>正にそういうことである。そのためにまず勉強会を開催していただき、自治会議として提案書の説明を行うという運びになっている。</p> <p>したがって、先ほど意見があったアンケートを実施するにしろ、通常行う世論調査のようなものでなく、もっと具体的に住民の声をまちづくりに活かしていくことができるように、より意見の反映が図れるものにするとういのではないか。</p>
<p>副会長</p>	<p>自治会議でアンケートを実施するのが難しいとなれば、そういった勉強会の中で方向性が見えてくれば、それに対してアンケートを実施するのも一つの方法ではないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>幅広い意見の集約ということであれば、三つのグループに分けるのではなく、全体を二つに分けて委員の半分で検討すればより多くの意見が出るのではないか。</p>
<p>会 長</p>	<p>事前に副会長と色々な検討をした結果、今年度は三つのグループがそれぞれ与えられたテーマについて、目標の設定というところまで議論していただくことにした。また、現状把握・将来予測・目標の設定という節目節目において全体で内容を確認し、意見の集約を図りつつ進めていく。</p> <p>そのうえで、次年度においては、目標設定まで行った三つのテーマをグループではなく、全体で議論したうえで提案内容を具体化していく考</p>

	え方である。
副会長	二つのグループに分けての議論ということについては、あまり人数が多いと意見が出しづらいという傾向もあることから、少人数のグループ編成とした。
会長	このことについて意見を求める。
委員	自治会議の下部組織として、部会や分科会のように位置づけを明確にしたうえで活動するものなのか。
会長	部会や分科会のような取り扱いではなく、ワーキンググループとして三つに分かれて議論するものである。
委員	先ほど「アンケートを実施したほうがよい」という意見があったが、アンケートとは、こちらの意見をどう取り入れるかなど、非常に難しいものである。アンケート一つで方向性が変わってしまう恐れがあるので、本当にアンケートが必要であればグループ内で話し合って実施すればよいのではないか。 また、グループ編成については、少人数で議論したほうが成果は上がるため、1グループ6人程度がよいと思う。
委員	まちづくりの提案は、合併市町村基本計画にある事業を活かした将来のまちづくりではないのか。それとも、全然関係なく大きなテーマについて議論するものなのか。 また、提案書を作成するには、いろんなデータが必要になってくると思うが、そういった資料も用意していただきたい。
会長	合併市町村基本計画の13事業については、あくまで合併協議の中で決定され、宇都宮市が予算を付けて事業化することを約束した事業である。13事業ですべての上河内地域のまちづくりが出来上がるものでないはずである。しかしながら、13事業とまちづくりの提案がまったく別のものではないため、提案書の中に13事業の内容が含まれると考えていただきたい。 また、今回こういった資料を用意できるのかは少し検討させていただきたいと思うが、いずれにしろ何も無いところから議論するのではなく、議論の糸口となるような資料はできる限り提供させていただく。 他に意見はあるか。
全委員	意見なし。
会長	実際に進めていくうえで不都合があれば見直し検討を図りながら進めていくということによろしいか。
全委員	異議なし。

会 長	それでは、確認いただいたということで、このとおりに進めたいと思う。
4 その他	
会 長	次第4の「その他」について、意見を求める。
事務局	次回の第5回上河内自治会議については、10月を予定している。詳しい日程が決まり次第、ご連絡させていただく。
会 長	他になければ本日の議題は終了させていただく。
5 閉会	
会 長	以上で、第4回宇都宮市上河内自治会議を終了する。